



黎明

<https://fukuno-e.nanto.ed.jp>

日本ならではの「お正月遊び」

校長

2025年の世相を一字で表す「今年の漢字」に「熊」が選ばれました。クマによる死傷者が相次いだことや、中国語で「大熊猫」と表記するジャイアントパンダが中国に返還されたことが理由に挙げられました。本校では熊による被害が起らないように、校区内のクマの目撃や痕跡の情報をテトル配信して注意喚起したり、該当地区の児童に熊鈴を配付したりしました。最近、南砺市におけるクマの目撃や痕跡情報をあまり耳にしなくなりましたが、冬眠しないクマもいるということなので、今後も十分に気を付けていきたいと考えています。

また、今年1年、地域や保護者のみなさまには本校の教育活動にご理解とご協力、ご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、下の歌は私が小学生の時に初めて覚えた一首です。

天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に 出でし月かも

阿倍仲麻呂

小学校1年生の頃、5歳年上のいとこと初めて百人一首の対戦をしました。それまで百人一首と言えば坊主めくりしかしていなかったもので、上の句が読まれたらすぐに札を取るいとこの姿に驚き、あこがれを感じました。そこで、自分も何か一首覚え、びっくりさせたいと思いました。なぜこの歌を覚えようとしたのかは記憶にありませんが、声に出して何回も読みながら覚えていました。

小学校、中学校時代の校内百人一首大会では、札を並べている時から、「みかさのやまに いでしつきかも」の場所を探しました。そして、「あまの・・・」と先生が読まれると「はい」と、誰よりも先に取りました。練習も含め、この札を他の人に取られたことはないと思います。

歴史の学習で阿倍仲麻呂が「奈良時代に留学生として若くして唐に派遣され、そのまま唐で役人となり一生を終えたこと」「いよいよ日本へ帰国できるという時、送別会の席で自分の故郷を懐かしんで詠んだ歌であること」等を学びました。阿倍仲麻呂がこの歌を詠んだ時の背景や思いを知り、この歌がさらに大好きになりました。同時に、その他の覚えていた歌の意味や作者のことについて調べるきっかけにもなりました。

本校は、12月25日（木）から1月6日（火）まで13日間の冬休みです。かるたや百人一首、羽子板（羽根つき）、凧あげ、すごろく等、伝統的で風情ある日本ならではの正月の遊びを家族や親族みんなと一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。



1月の主な行事予定

7日（水）始業式、書初大会、給食開始

愛の一声運動

8日（木）・9日（金）身体・視力測定

13日（火）避難訓練（地震）

15日（木）6年スキー学習

22日（木）5年スキー学習

29日（木）4年スキー学習

30日（金）令和8年度入学児童 入学説明会

【3学期の主な行事予定】

2月 6日（金）中学校入学説明会

2月 7日（土）学習参観・学級懇談会

スポーツ少年団紹介

3月17日（火）卒業式

3月24日（火）修了式・退任式・離任式

温かい学級の雰囲気をつくる「聴き合いタイム」

研究主任

本校では、「自分の考えをもち、学び合う子供」を育成するために、今年度は、子供たちが「共感的に話を聞いたり、自分の考えを進んで伝え合ったりすることができる」を具体的な目標に掲げ、そのための方策について、教員間で考え、学習環境づくりや授業づくりに取り組んできました。

重点的に取り組んできたことの中から、全校で朝の時間に各学級で実践してきた「聴き合いタイム」について紹介します。

「聴き合いタイム」では、学級の仲間に聴いてもらいたいことがある子供が話し手となり、学級全体で、その話し手である子供の気持ちをじっくりと受け止める時間をつくっています。話し手は、まず、聴いてもらいたい自分の気持ちを先に述べ、次に、その気持ちになった出来事について語ります。聴き手は、話し手がなぜそんな気持ちになったのか、理解しようとしながら聴きます。



「〇〇さんは、いつもスポ少の練習を頑張っているから、きっとこの試合も勝ちたかった。だから、悔しかったのではないかな。」「〇〇さんは、『お姉ちゃんはいつも忙しい』と、以前話をしていたことがあった。だから、お姉ちゃんも含めた家族みんなで遊べたことがうれしかったのではないかな。」などと、聴き手となった子供たちは、話し手が言葉にした状況を手がかりに、話し手の好きなことや頑張っていること、周囲の環境等にまで思いを巡らせながら、話し手の気持ちを受け止めながら共感的に聴こうとしています。話し手となった子供は、「みんなもスポ少等で悔しい思いをしても、次に向けて頑張っていることを知ったから、ぼくも次に向けて頑張りたい。」「悔しい気持ちをみんなが受け止めてくれたから、気持ちが少し軽くなった。」など、学級の仲間に受け止めてもらい、「話をしてよかった」と満足感を感じている子供も多いです。

話をした経験に、自分の気持ちや考えを受け止めてもらえたという安心感が加わることによって、次も自分の気持ちや考えを「話してみたい」という思いになります。今後も、共感的に聴き合える温かい学級の雰囲気づくりを醸成していくことで、自分の気持ちや考えを進んで伝え合いたくなる学習環境をつくっていきたいと考えています。



教育活動あれこれ



1年生 生活科 11/10～12
年長児との交流学习



2年生 生活科 12/3～5
1年生を招いての「おもちゃランド」



3年生 社会科 11/18
南砺消防署 見学



4年生 総合的な学習の時間 11/15
県小学生火災予防研究発表大会
銀賞受賞



5年生 学級活動 11/13
歯科衛生士さんを招いての
「歯科保健教室」



6年生 家庭科 12/3
調理実習
「家族へ一食分の献立を作ろう」